

評価結果

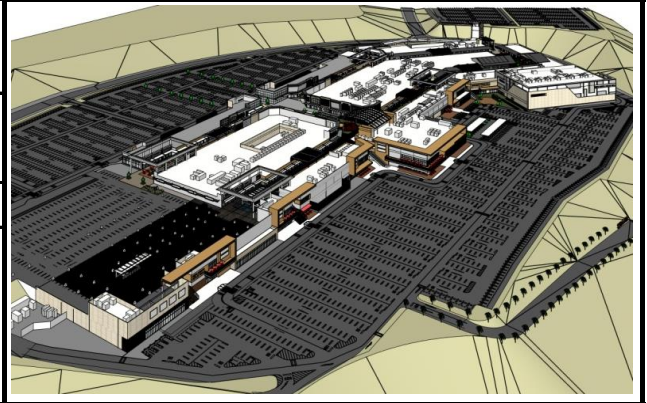


1-1 建物概要

建物名称	(仮称)西風新都プロジェクト新築工事
建設地	広島県広島市佐伯区石内東4丁目
用途地域	近隣商業地域、準防火地域
気候区分	6地域
建物用途	物販店、飲食店、集会所
竣工年	2018年3月 予定
敷地面積	199,200 m ²
建築面積	55,822 m ²
延床面積	71,919 m ²

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	15,000 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年11月10日
作成者	株式会社大本組 飯塚
確認日	2016年11月30日
確認者	株式会社大本組 梅村

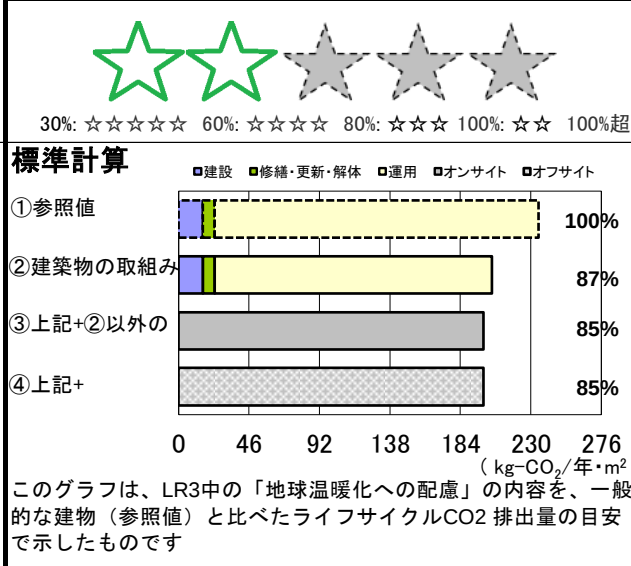
1-2 外観



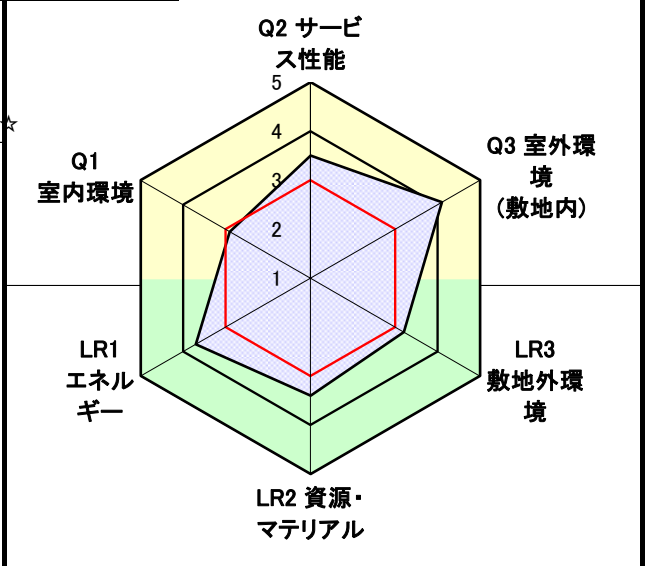
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



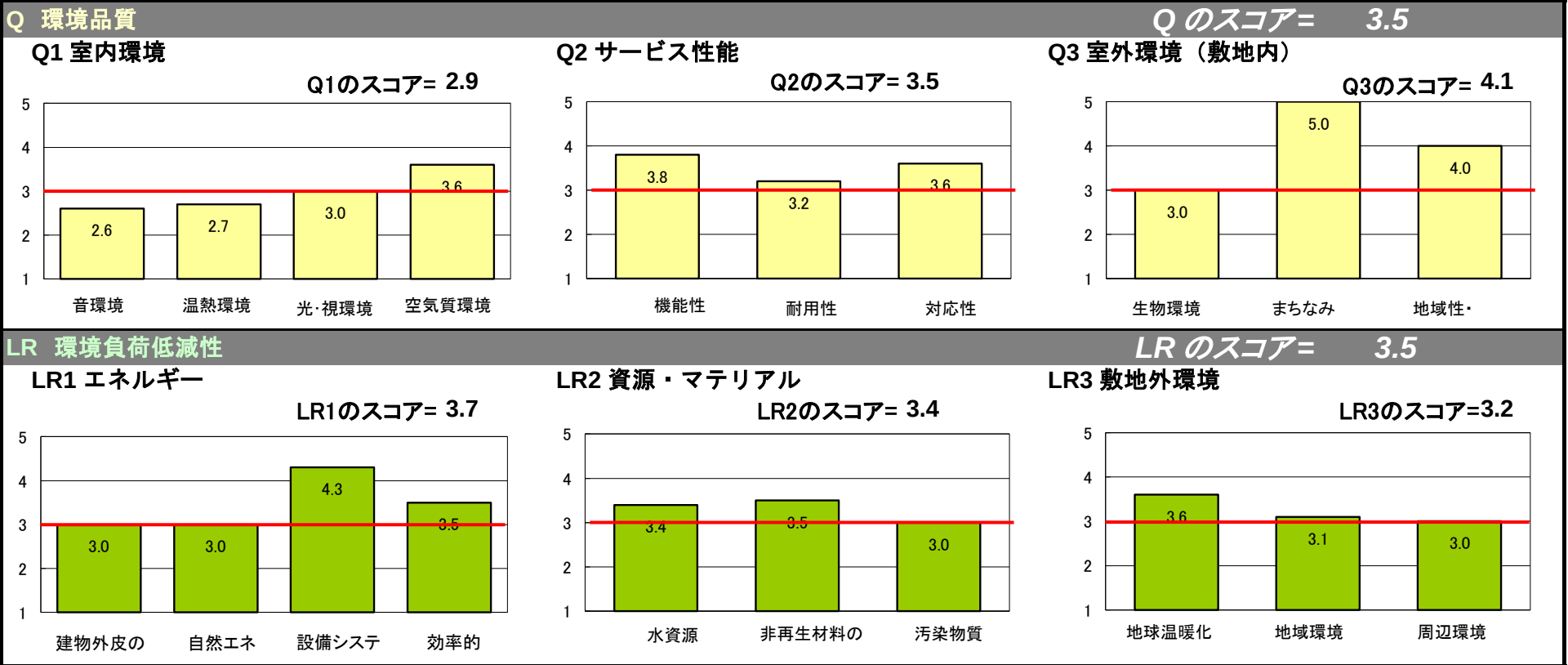
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.5		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.7	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 3.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 3.1
設計の計画段階に配慮した事項 適切な断熱性能の外皮により建物の熱負荷抑制に配慮した。/ 特になし。/ LED照明などの導入で設備システムの高効率化に配慮した。/ 中央監視設備の導入でモニタリング機能を充実させ設備システムの高率の運用を図った。/ 節水機器の採用や再利用可能部材の使用等により資源保護に配慮した。/ 高効率設備の採用によりLCCO ₂ 排出量の削減に配慮した。	設計の計画段階に配慮した事項 高い空地率で温熱環境の向上を図った。/ バス停の設置による自動車の代替利用の促進や、十分な駐車スペース確保で交通負荷の抑制を図った。	設計の計画段階に配慮した事項 更新間隔の長い配管材料を採用し耐用性の向上を図った。/ 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される